

修士(国際関係学)ディプロマポリシー

国際関係学プログラム

国際大学学則で規定されている本学の目的と国際関係学研究科の教育研究上の目的を達成するために、国際関係学プログラム(IRP)は修士(国際関係学)の学位を取得するために必要な修了要件と学修目標を次のとおり定める。

<課程修了の要件>

在学期間に関する要件

学生は、修士課程に2年(6学期間)以上在学しなければならない。ただし、優れた業績を上げた者については、在学期間に関し、1年以上の在学にて、修業年限を満たしたものと認める場合がある。

授業科目の履修及び修了に必要な単位数に関する要件

学生は、IRPで指定された履修要件に従って、選択必修科目および自由選択科目を履修し、必要な単位数を取得しなければならない。修了に必要な単位数は、修士論文を提出する場合は合計40単位以上、研究レポートを提出する場合は合計44単位以上とする。

単位認定

コースシラバスに明記された評価項目について審査したうえで、最終評価スコアが100点満点中60点以上であった学生に単位を与える。

修士論文/研究レポートの提出に関する要件

学生は、指導教員の指導の下で、審査基準を満たす修士論文または研究レポートを完成させ、期限までに提出しなければならない。

最終試験の要件

修士論文を選択した学生は、審査委員会が口頭により行う最終試験に合格しなければならない。研究レポートを選択した学生は、審査委員会が決定した実施方法により行われる最終試験に合格しなければならない。

GPAの要件

学生は最終学期の成績が確定した段階で、少なくとも2.5ポイント(4.0ポイント中)以上のGPAを取得していなければならない。

<学修目標>

修士(国際関係学)の学位課程では、以下のスキル、知識、学術的態度の修得を学位授与の条件とする。

知識

- 国家の外交及び安全保障政策についての基礎的な知識
- グローバルな政治経済学と国際経済秩序システムの知識
- 国際紛争解決に役立つ道具・方法・手段に必要な知識

- 諸国家間での行為における人権と正義についての知識

スキル

- 国際関係論分野の基礎的知識を明示する能力
- 国際関係の動態を理解する能力
- 国際関係諸問題を学術的・批判的に分析する能力
- 国際関係諸問題についての政策議論に参加・意見交換する能力

学術的態度

- 政策分析と評価における学際的なアプローチを取る態度
- 国際社会の平和・安定・発展へ寄与する姿勢
- 政策立案に際し知的に刺激的で創造性に富むアイデアを展開する態度
- 政府・外交・国際ビジネス・非政府組織・国際機関での活躍に必要な能力と知識を装備